

2022年度 学部卒業生（4年次生）アンケート報告書

川崎医療福祉大学
FD・SD委員会

本学の「学部卒業生（4年次生）アンケート」は、入学依頼の本学の教育課程に対する満足度およびディプロマ・ポリシーの達成度を把握するために行っている。この調査は、2006年度より始まり、毎年実施している。

1. 実施状況

1-1 実施対象と実施方法

対象は卒業を前にした4年次生で、2022年度の対象者数は1049名であった。アンケートはWebClassを使用して、オンラインにて実施した。質問項目は巻末の資料1の通りである。

1-2 実施期間

2022年9月12日（月）～2023年3月20日（月）

2. 実施結果

2-1 回収率

全学で96.09%と、昨年86.32%を大きく上回った。最も回収率の高い学科は100%、最も低い学科は78.05%であった。来年度は、今年度以上の回収率が期待される。

2-2 卒業後の進路（Q1）

全学的には医療機関59.62%（昨年度67.1%）、福祉施設9.82%（昨年度12.1%）、医療・福祉系企業4.66%（今回から新設された選択肢）、一般企業10.71%（昨年度7.7%）、官公庁（公務員）6.65%、進学5.06%、その他3.47%であった。昨年に比べて福祉施設、一般企業、官公庁が増加し、医療機関の就職者が減少した。

2-3 教育の満足度（Q2）

全学の満足度平均値は3.91（昨年度4.16）であった。なお、今回は学科別の教育の満足度の集計は行っていない。

2-4 ディプロマ・ポリシーの達成度（Q3～Q6）

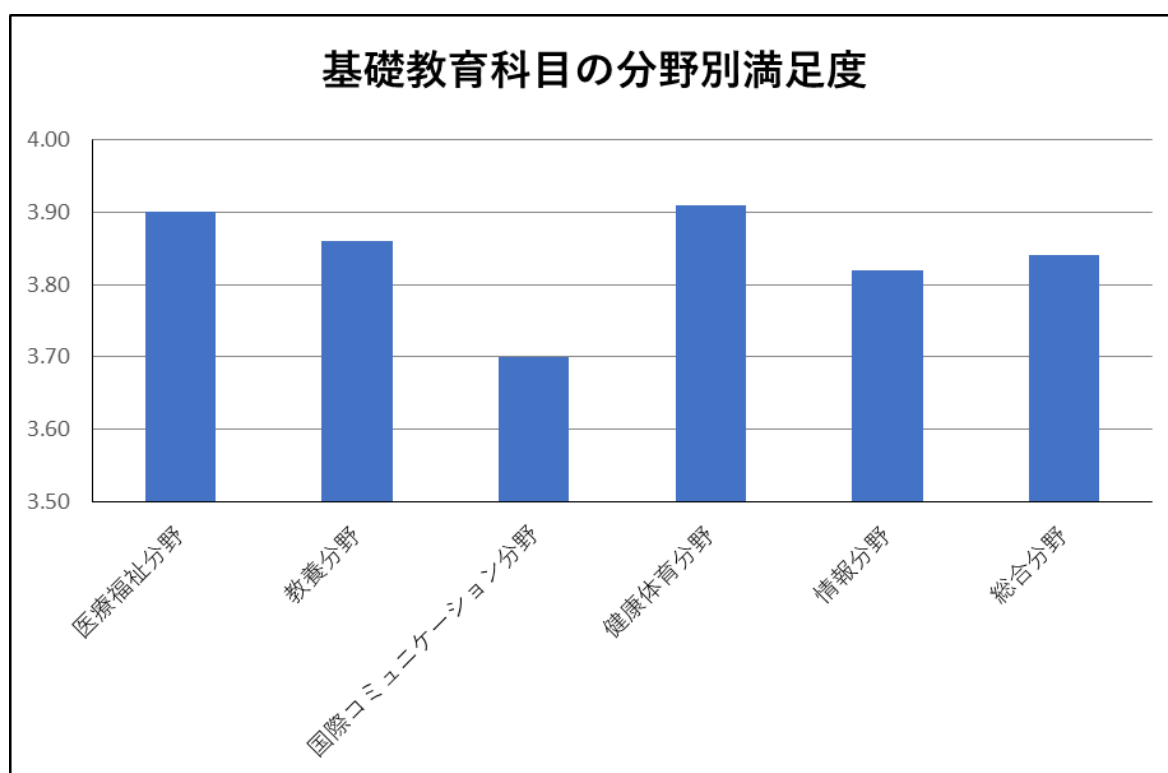
4つのディプロマ・ポリシーについて、達成度を5段階で評価してもらった。なお、本質問項目は昨年度までの教育目標の達成度に代わる質問項目である。それぞれ平均値を示すと、「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」3.81、「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。」3.89、「医療福祉という総合的な視

点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」3.84、「4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」3.73であった。

2-5 基礎教育科目の分野別満足度 (Q10~Q15)

基礎教育科目への満足度評定平均値は3.84(昨年度3.91)で、そのうち、健康・体育分野が3.91(昨年度3.89)と高く、国際コミュニケーション分野の満足度が3.70(昨年度3.55)と低かった。その他の各分野は3.82~3.90であった。

図1 科目分類別の授業満足



2-6 専門科目の授業形態別満足度 (Q16~Q19)

専門科目の評定平均値は4.13(昨年度4.33)と高く、授業形態別にみると、講義科目4.05(昨年度4.30)、演習科目4.09(昨年度4.32)、実習科目4.13(昨年度4.32)、卒業研究(ゼミナール)4.24(昨年度4.39)と、全ての授業形態において昨年度より低い評価であった。

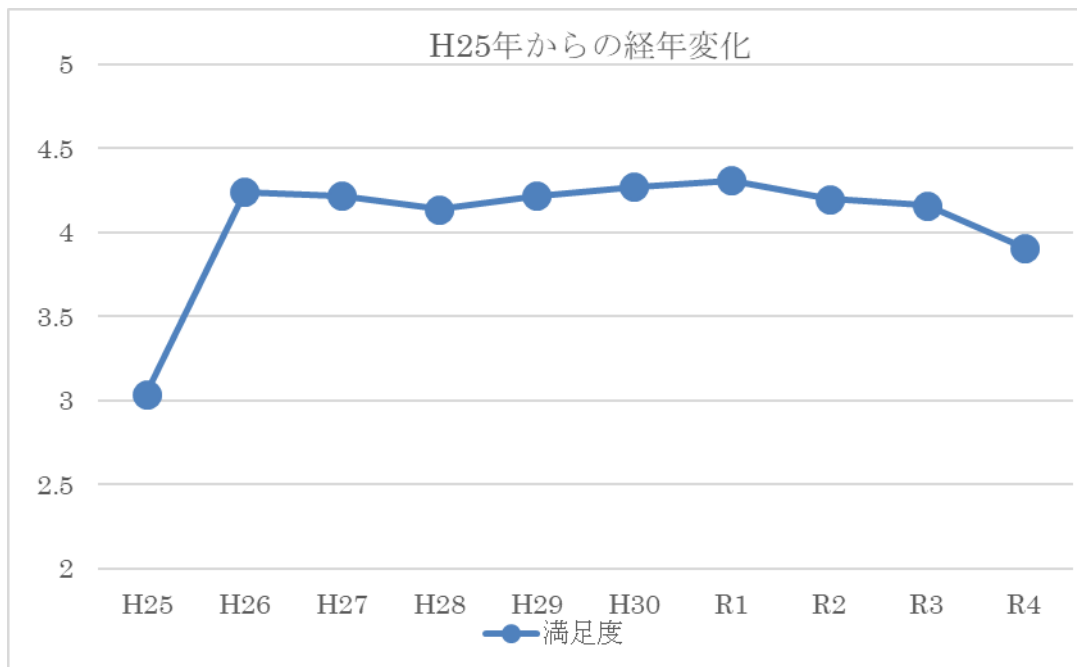
3. 自由記述

さまざまな意見があり、個々には言及しないが、昨年度に続き今年度も、本学のコロナ対応に対する批判的な内容が見られた。また、施設面の整備化についての意見も例年同様に見られた。大学全体及び各学科において十分に検討されることを期待する。なお、自由記述をまとめたものについては別途保管する。

4. 全体的な満足度の経年変化

全体的な満足度については、今年度は 3.91 と昨年度の 4.16 を下回った。

図 2 全体的な満足度の 10 年間の経年変化



5. まとめ

昨年度に引き続き、オンライン形式でアンケートを実施した。学生が様々な機会・場面で本形式のアンケートに慣れてきたこと、教務課と学科関係者が回答呼びかけを行ったこと等の成果として今年度も回収率は向上した。

全体の満足度は、平成 26 年度以来維持していた 4 点台を下回った結果となった。今年度からディプロマ・ポリシーについての達成度を 5 段階で評価してもらったが、すべての項目で 4 点未満であった。このことが全体の満足度評価に関係したと思われる。

また、今年度も新型コロナ対応に関する批判的な意見が多かったこと、志願者数低下による入学生の学力低下に教育方法が対応できなかったこと、これらの要因も満足度に反映されたものと推察される。継続的な対策が必要であろう。

2022年度 卒業生(4年次生)アンケート (川崎医療福祉大学の教育についての調査)

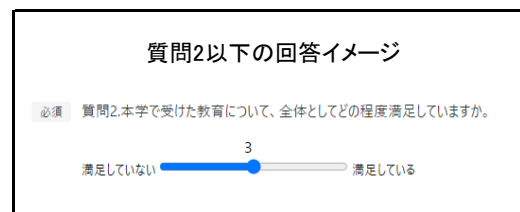
資料1

川崎医療福祉大学 FD・SD委員会

本学では、在学中の教育について皆様の率直な感想を伺い、今後の教育改善に活かしていきたいと考えています。趣旨をご理解のうえ、以下の質問に回答をお願いいたします。なお、回答内容については匿名となっています。

1【卒業後の進路】(希望を含む)

- 1 医療機関に就職
- 2 福祉施設に就職
- 3 医療・福祉系企業に就職
- 4 一般企業に就職
- 5 官公庁(公務員)に就職
- 6 大学院・その他教育機関に進学
- 7 その他



2【本学で受けた教育について、全体としてどの程度満足していますか。】

<選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価

3【本学では、大学の理念と教育理念のもと、以下の学習成果の獲得を教育目標としています。自身の達成状況について5段階で自己評価してください。】

- ① 「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」

<選択肢> 達成できなかった→達成できた 5段階評価

- ② 「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につける。」

<選択肢> 達成できなかった→達成できた 5段階評価

- ③ 「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」

<選択肢> 達成できなかった→達成できた 5段階評価

- ④ 「4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」

<選択肢> 達成できなかった→達成できた 5段階評価

4【在学中に受講した授業の内容は、全体的に整理され、まとまっていたか。】

<選択肢> まとまっていなかった→まとまっていた 5段階評価

5【在学中に受講した授業の担当教員は、全体的に受講生の様子をよく見ながら臨機応変に授業を進めていましたか。】

<選択肢> 進めていなかった→進めていた 5段階評価

6【在学中に受講した授業は、全体的にシラバスの記載内容に沿って行われましたか。】

<選択肢> 行われなかった→行われた 5段階評価

7【基礎教育科目についてお尋ねします。それぞれの分野について、どの程度満足していますか。】

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ① 医療福祉分野 | <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価 |
| ② 教養分野 | <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価 |
| ③ 国際コミュニケーション分野 | <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価 |
| ④ 健康・体育分野 | <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価 |
| ⑤ 情報分野 | <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価 |
| ⑥ 総合分野 | <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価 |

8【専門科目についてお尋ねします。それぞれの授業形態の科目について、どの程度満足していますか。】

- ① 講義科目 <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価
- ② 演習科目 <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価
- ③ 実習科目 <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価
- ④ 卒業研究(ゼミナール) <選択肢> 満足していない→満足している 5段階評価

9【質問項目3～8のうち、「1」または「2」と回答された方は以下に質問番号とその理由をお書きください。(任意)】

質問項目 (番号)	理 由

10【本学の教育に関して何かご意見がありましたら、自由にお書きください。(任意)】

--

回答期限:2023年3月20日(月)